

## 中学校国語科における知識・技能の活用を 図ることをねらいとした問題の作成

【総括研究担当者】 高屋敷一博 安部 広一

【国語科研究担当者】 渡邊 康二 熊谷 和浩

【この研究に対する問い合わせ先】

TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

### 1 基礎・基本の定着について

本県の義務教育では、「すべての児童生徒一人一人に基礎・基本の定着を実現していく」ことを目標にしています。

本県においては、「基礎・基本」を、読み・書き・計算といった学習基盤の育成及び各教科等における基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに、その知識や技能を活用して人間として社会人として生涯学ぶことができ、自らの人生を切り開いていくために必要な能力（思考力、判断力、表現力等）ととらえています。

（「平成 22 年度学校教育指導指針」より）

### 2 「活用問題」とは

「活用問題」とは、学習指導要領を基に、知識・技能を活用して、思考力、判断力、表現力等を育むことを目的とした問題です。

そのために、「活用問題」は、必要な情報を取り出したり、根拠を持って考えたり、自分の考えを説明したりするなどの言語活動に取り組めるよう構成しています。

生徒は、授業や家庭学習などで「活用問題」に繰り返し取り組むことにより、知識・技能を活用することに習熟していきます。

また、教師は、生徒の解答状況から、授業実践を振り返ることにより、授業改善につなげることができます。

### 3 中学校国語科における「活用問題」

中学校国語科「活用問題」は、学習指導要領の言語活動例を、生徒の体験する日常生活や学校生活場面に設定して、その場面で行われる言語活動を問題の形式にしました。





## 5 「正答例と解説」の具体例

「正答例と解説」には、正答または正答例と、問題を解く際の考え方や既習事項との関連を中心に解説しました。

### 正答（正答例）と考え方や今後のヒント

「正答例と解説」には、正答（正答例）となぜそのように考えられるかを示しています。また、今後の学習のヒントも示されています。

### 〈発展〉として実際の言語活動を

「正答例と解説」には、〈発展〉として、この問題を題材に実際に行える言語活用や、問題に関連した他領域の言語活動を示しました。

### 教師の解説とともに利用

「正答例と解説」とともに、教師の解説を加えることで、指導事項の確実な習得を図ることができます。

正答例と解説（三年問題） 学級新聞

問一 「正答」  
 ①「A組の記者」  
 ②「B組の記者」  
 ③「C組の記者」  
 ④「D組の記者」  
 ⑤「E組の記者」  
 ⑥「F組の記者」  
 ⑦「G組の記者」  
 ⑧「H組の記者」  
 ⑨「I組の記者」  
 ⑩「J組の記者」  
 ⑪「K組の記者」  
 ⑫「L組の記者」  
 ⑬「M組の記者」  
 ⑭「N組の記者」  
 ⑮「O組の記者」  
 ⑯「P組の記者」  
 ⑰「Q組の記者」  
 ⑱「R組の記者」  
 ⑲「S組の記者」  
 ⑳「T組の記者」  
 ㉑「U組の記者」  
 ㉒「V組の記者」  
 ㉓「W組の記者」  
 ㉔「X組の記者」  
 ㉕「Y組の記者」  
 ㉖「Z組の記者」

問二 「正答」  
 ①「自分たちの生活に密着した話題を、グラフを用いて具体例を示しながら説明している点や、見出しと内容をしっかり一致させていることから読みやすく、筆者の考えをとりやすい文章になっている点」  
 ②「話題提示、具体例、そして、筆者の主張といった、構成がしっかりしている点」  
 ③「見出しと内容を一致させている点」  
 ④「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑤「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑥「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑦「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑧「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑨「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑩「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑪「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑫「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑬「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑭「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑮「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑯「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑰「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑱「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑲「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑳「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉑「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉒「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉓「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉔「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉕「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉖「見出しと内容を一致させている点」

問三 「正答例」  
 ①「自分たちの生活に密着した話題を、グラフを用いて具体例を示しながら説明している点や、見出しと内容をしっかり一致させていることから読みやすく、筆者の考えをとりやすい文章になっている点」  
 ②「話題提示、具体例、そして、筆者の主張といった、構成がしっかりしている点」  
 ③「見出しと内容を一致させている点」  
 ④「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑤「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑥「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑦「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑧「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑨「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑩「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑪「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑫「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑬「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑭「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑮「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑯「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑰「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑱「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑲「見出しと内容を一致させている点」  
 ⑳「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉑「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉒「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉓「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉔「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉕「見出しと内容を一致させている点」  
 ㉖「見出しと内容を一致させている点」

〈発展〉  
 「講評」を書いてみましょう。対象となる事柄のよさや特性について、どこが、どのように優れているのか、評価した理由や根拠を明確に、すりと分りやすい「講評」になります。

## 6 「活用問題」の利用に当たって

「活用問題」は、領域ごとに配列しています。（下表 活用問題出題一覧表）  
 「活用問題」を次のような場面で利用することを想定しています。

### ○単元のはじめに

- 各領域の言語活動や単元構成を考える時の参考に
- 生徒に示し、単元の言語活動の見通しを持たせる

### ○単位時間の中で

- 小問ごとに分割して使用
- 指導事項の確認に

### ○単元のまとめとして

- 単元の言語活動として
- 言語活動を促し、単元のねらい（指導事項）の習得に

### ○家庭学習として

- 家庭学習や週末課題に
- 「正答例と解説」とともに、教師の解説を加えることで、指導事項の習得を図る

活用問題出題一覧表の例

学年	二年				一年				学年番号	活用問題出題一覧表
	ウ	ウ	イ	ア	ウ	イ	ア	ア		
言語活動例	批評文を書く	手紙を書く	手紙を書く	意見を決める	詩歌や物語	案内や報告	図表を用いる	鑑賞文		
問題名	『学級新聞』批評文を書く	『お礼状』社会生活に必要な手紙を書く	『お礼状』社会生活に必要な手紙を書く	『新聞に投書する』立場を決めて意見を述べる	『中学生ふるさとの短歌』短歌を詠もう	『運動会の案内』行事の案内文を書く	『ポスターセッション』グラフを用いた文章を書く	『バスルーム』鑑賞文を書く		
問題の概要	2つの新聞記事を読み比べ、それぞれの記事の構成や表現を比較しながら、文章を批評する。	職場体験学習のお礼状の文を考える。	職場体験学習のお礼状の文を考える。	『新聞に投書する』立場を決めて意見を述べる。キリストから、自分に必要な箇所を書くための構成を考える。	短歌の短歌を読み、それぞ情景をもとに短歌の下の句を取り出し、自分の立場を決める。	『運動会の案内』を参考に、地域の案内文を書く。『中学生ふるさとの短歌』短歌の情景を読み、それぞ情景をもとに短歌の下の句を取り出し、自分の立場を決める。	『ポスターセッション』グラフを用いるのが効果的か考える。	『バスルーム』鑑賞文を書く。必要に応じて加工しながら、紹介する文章をまとめる。		

研究内容の詳細については、当センターWeb ページ（岩手県立総合教育センターWeb ページ <http://www1.iwate-ed.jp/>）に資料を掲載しておりますのでご覧ください。

作成した「活用問題」については、岩手教育情報交流ネットに掲載する予定です。また、活用問題 CD-ROM を作成し、各市町村教育委員会経由で各小・中学校に配布いたしますので、ご活用ください。